

COMPANY INFORMATION SESSION



日東ベスト株式会社 会社説明会

東証スタンダード市場

証券コード：2877

2026年8月8日

© 2026 NittoBest Corp.





“日東ベストだから安心だね”

本日の内容

- 1. 日東ベストについて
- 2. 中期経営計画及び決算
- 3. PBR及び株主還元



1. 日東ベストについて

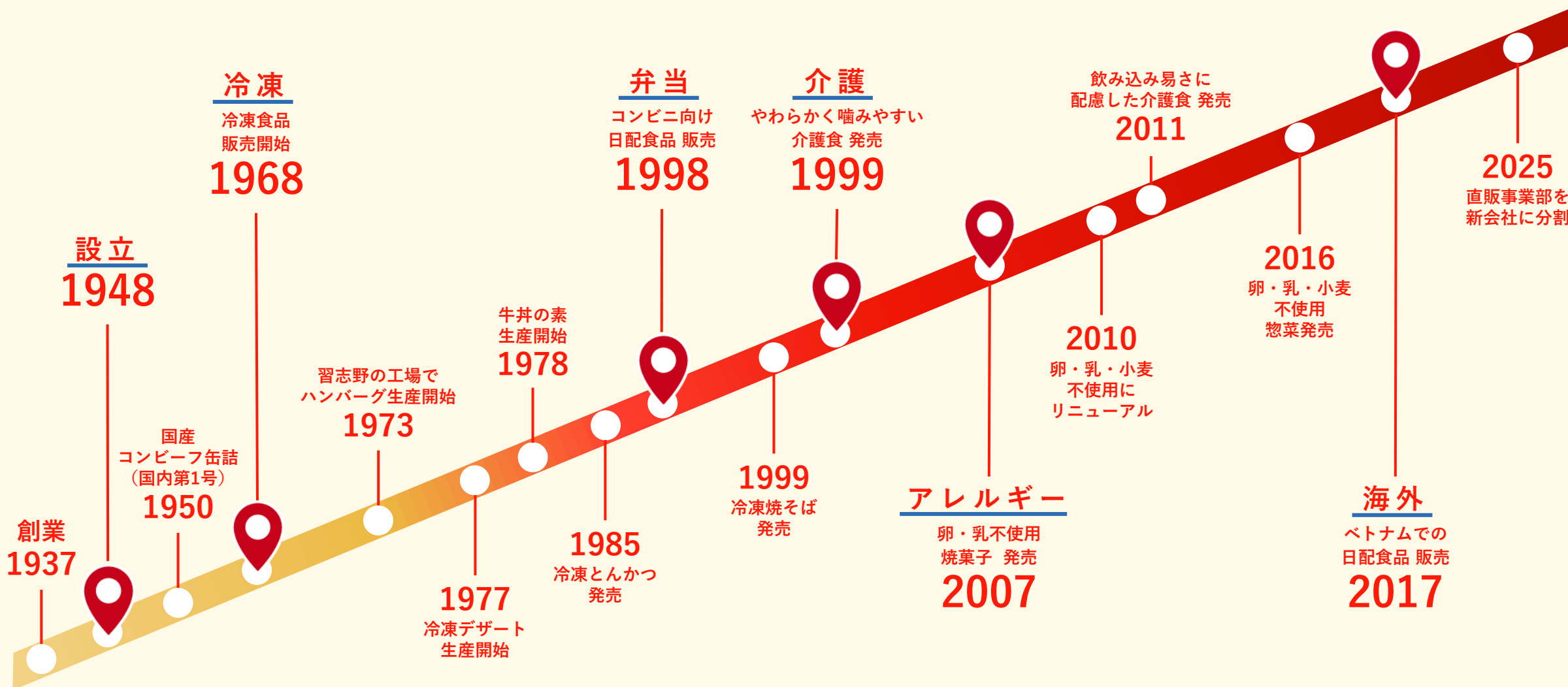


2. 中期経営計画及び決算



3. PBR及び株主還元

国内生産×全国に広がる営業ネットワークによる製販一体の事業モデルで
安全・安心、高品質なモノづくりを追求する「総合食品メーカー」



日東ベストの商品は 全国47都道府県の多様な領域・様々な食のシーンを彩ります

多様な給食現場の
食事づくりをサポート

給食

忙しい日の食卓を豊かに
お弁当にも活躍

市販

家庭

学校

企業

安心して食べやすい
食事の提供を支援

病院・老人福祉施設 等

介護施設

ドラッグストア

コンビニ

食品スーパー

ホテル・旅館

病院

食堂・居酒屋

惣菜

手軽さとおいしさが
求められる
食シーンを支援

そば・うどん店

レストラン

喫茶店

外食

高品質なメニュー提供と
円滑な運営に貢献



日東ベストの商品はあらゆる世代の
“楽しい食生活を創造－Good Life Creation”します



IDENTITY:01

外食、惣菜、病院・老人福祉施設等、
学校給食用など、多様な食の現場で
広く採用される商品群を展開

IDENTITY :02

様々なライフステージを通じて
生涯にわたる食事の機会をサポート

4) 会社概要



© 2026 NittoBest Corp.

会社名

日東ベスト株式会社

NittoBest Corporation

設立/創業

1948年7月設立/設立79年目

(1937年10月創業) ※本日時点

本店所在地/代表取締役

山形県寒河江市

代表取締役会長 塚田 莊一郎
代表取締役社長執行役員 嵯峨 秀夫

証券コード: 2877

東証スタンダード市場

(上場年月: 2013年7月~)

資本金/発行済株式総数

1,474百万円 / 12,102,660株

(議決権総数120,887個)

連結売上高

57,492百万円

(前年同期比 + 2.9%) ※2026年3月期

連結従業員数

1,840名

平均勤続年数13.7年 (日東ベスト単体)

株主総数

2,713名

(前年同期比 + 633名)

日東ベストの原動力となる“3つの要素”

要素:01

多様な領域

外食、惣菜、病院・老人福祉施設等、学校給食用など多様な領域を確立



要素:02

強い顧客基盤

信頼の老舗企業として業務用市場をけん引する強固なBtoBチャネル



業務用冷凍食品でトップクラス!!
代表的な商品群



ハンバーグ



牛丼・焼肉



とんかつ



焼そば



デザート

要素:03

要素01・02を支える「最大の要素」

2,000種類を超える豊富な商品群

惣菜・麺類・デザート等、多彩な温度帯の幅広いジャンルをカバーする品揃え

豊富な商品群を生産できる“3つの強み”



01: 創造力

市場の新しいニーズに
挑み続ける商品開発



02: 技術力

確かな“美味しさ”を追求した
専門性と再現性



03: 品質管理

国際規格FSSC22000の認証
をすべての工場で取得・継続

01：「創造力」の実例

創造力①：噛みやすさ・飲み込みやすさに配慮した弁当形式の介護食

やわらか介護食

病院・老人福祉施設等

1999年から27年の実績と歴史を積み重ねる冷凍商品

提供価値

- 人手不足の現場をサポート
- 1ヶ月分の献立作りを支える商品レパートリー
- 栄養バランスの良い食事や献立づくりを提供
- 3段階の硬さ × 一皿料理で簡単調理
- etc.



普通の硬さ



やわらかく噛みやすい



飲み込み易さに配慮した
なめらかなムース食

創造力②：アレルギーのある方の思いに応える商品群

アレルギー対応商品

学校給食

BtoB以外にも展開

提供価値

- みんなと一緒に食べる喜びと美味しさを提供
- 食の豊かさと安心を広げ、誰もが楽しめる社会に貢献
- 専用工場からお届けする安全・安心の信頼品質 etc.

■ おかずからデザートまで70種類を超える商品レパートリー

食物アレルギーの
約半数を占める
卵・乳・小麦を不使用



厳格な品質管理体制の
専用工場のもとで生産

厳選した原材料を受入れ

卵・乳・小麦を
持ち込まない2つの専用工場で生産



精密な検査で確認

学校給食 等

創造力③：冷凍食品事業に受け継がれるパイオニアのDNA

クリスマスケーキ
全国の学校給食No.1



国産コンビーフ缶詰

缶詰で創業
国産コンビーフ缶詰
第1号メーカー



小ロット多彩メニュー

個人の飲食店などに
豊富なメニューを
小ロットで提供



学校給食での行事食

クリスマスケーキなど
行事食という文化を
学校給食に根付かせる



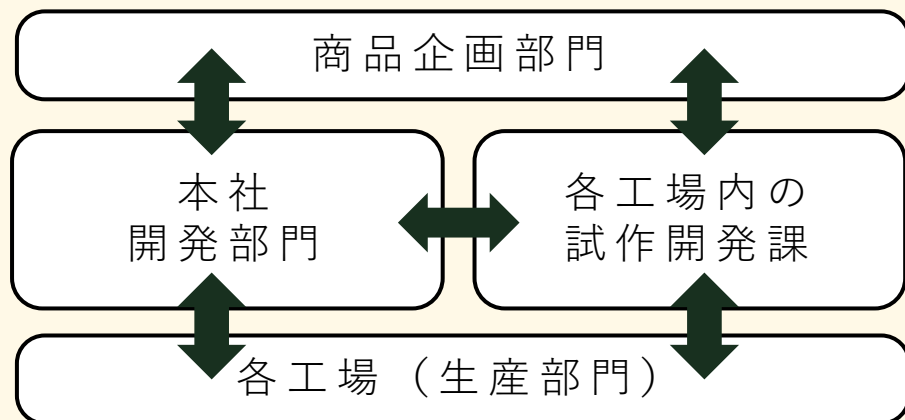
弁当形式の介護食

人手不足の業界で
食事提供サービスの
利便性向上に貢献

多様な食の現場・お客さまのニーズと真摯に向き合い、様々な価値ある商品を創出

02：「技術力」の実例

技術力①：開発から生産までを一気通貫で行う量産体制を確立



開発と生産が直結した独自の体制で
よりスピーディーな商品開発を実現

1年間の開発件数
400件以上を持続

●独自の技術を集積した開発例



乳を使わず
冷めてもとろける
チーズ風ソース
in ハンバーグ



非日常感のある
フレーバーを
多彩に展開した
家庭用市場向け商品

技術力②：磨き上げてきた技術の融合と進化によるロングセラー商品の展開

1970年 1980年 1990年 2000年 2010年

2020年

● 事例1：ハンバーグ



1973年
冷凍ハンバーグの
生産開始



2005年
プロ仕様をさらに追求したブランドを展開



2014年
価値を高める
ブランドを展開

それぞれに特徴を持つ6シリーズに拡大



ロングセラー



ゴツゴツ感UP



ゴツゴツ感UP
& 鉄板焼



チーズイン



香りUP



高級原料

● 事例2：介護食



1999年
噛みにくい方に向けた
商品を独自開発・販売



2011年
噛む力や飲み込む機能が
低下した方に配慮した
商品を新たに開発



2015年
お弁当形式の
副食（おかず）を展開

朝食用
パンセット
を開発
改良・進化



2025年
主食と副食の
セット商品へ展開

技術力③：原材料リスクに対する安定供給のメカニズムと独自技術

300社を超える
直接取引の一次サプライヤー、パートナー企業等と
緊密な信頼ネットワークを構築

原材料の供給状況を密に共有し、安定供給を維持する情報連携の仕組みを確立

価格高騰や供給懸念に対応する独自技術

長年に亘って蓄積するノウハウ

原材料の不均一性に左右されず、商品の品質と付加価値を均一に維持し、
かつ最大化する高度な加工技術力

03：「品質管理」の実例

品質管理①：安全・安心・高品質を求めて、“業界トップレベル”の品質管理を徹底



全10工場（自社全工場＋子会社2工場）で

FSSC22000認証（国際規格）を取得・継続

品質管理②：生産現場と独立した検査部門による多層チェック体制とレスポンス

生産現場での製品検査



外観を検査



X線検査機器（生産工程内検査）

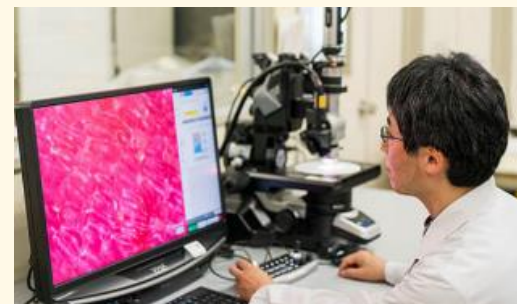
専門の分析検査室（中央研究所）での製品検査



細菌検査



腸管出血性大腸菌の検査



異物検査機器 マイクロスコープ



アレルギー検査

工程ごとのリスク分析に基づくサンプリング設計により検出力と効率を両立

→ 検出時には素早く分析・対応することで生産ロスを抑えることが可能

“3つの要素”と“3つの強み”を持続的成長の礎とした「中期経営計画」を策定



1. 日東ベストについて

2. 中期経営計画及び決算

3. PBR及び株主還元

(注)

1. 本書中の記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております
2. 本書中の割合（％）は、小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。なお、各項目の割合を加算して100.0%にならない場合も、合計欄は100.0%と表示しております

中期経営計画 Reborn & Growing 2028 の位置付け



永続と繁栄のもと ステークホルダーの満足の実現につなげる

Before

前・中期経営計画

Change & Reborn 2025 ➤

利益改善 × 基盤の再構築

中期経営計画 Reborn & Growing 2028

経常利益 **20億円以上** を確保する基盤づくり

年度方針
2025年3月期

年度方針
2026年3月期

年度方針
2027年3月期

年度方針
2028年3月期

年度方針
2029年3月期

環境変化への対応強化のため、**每期、中期経営計画をベースに年度方針・予算策定**

例年に続き、2024年度の売上ランキングで上位を維持

●2024年度冷凍食品メーカー売上高ランキング（食品産業新聞社発行『冷食日報』より）

順位	会社名（決算月）	冷食売上高（対前年増減率）	家庭用：業務用	総売上高（対前年増減率）
1位	ニチレイ（3月）	316,700（4.9）	46：54	702,080（3.2）
2位	味の素（3月）	289,300（2.7）	63：37	1,530,556（6.3）
3位	ニッスイ（3月）	227,465（1.8）	45：55	886,126（6.6）
4位	マルハニチロ（3月）	193,100（3.4）	30：70	1,078,631（4.7）
5位	テーブルマーク（12月）	108,500（△1.0）	60：40	130,300（0.5）

}

11位	日東ベスト（3月）	43,007（1.8）	0：100	55,860（2.9）
12位	キューピー（11月）	42,400（6.0）	0：100	483,985（6.4）

}

18位	シマダヤ（3月）	16,420（5.2）	10：90	39,581（1.7）
19位	東洋水産（3月）	14,300（5.0）	20：80	507,600（3.8）
20位	ケイエス冷凍食品（12月）	13,800（0.0）	50：50	13,800（0.0）

単位：百万円、対前年増減率％

全国に強い顧客基盤を確立



2024年度で業界11位の
売上を達成



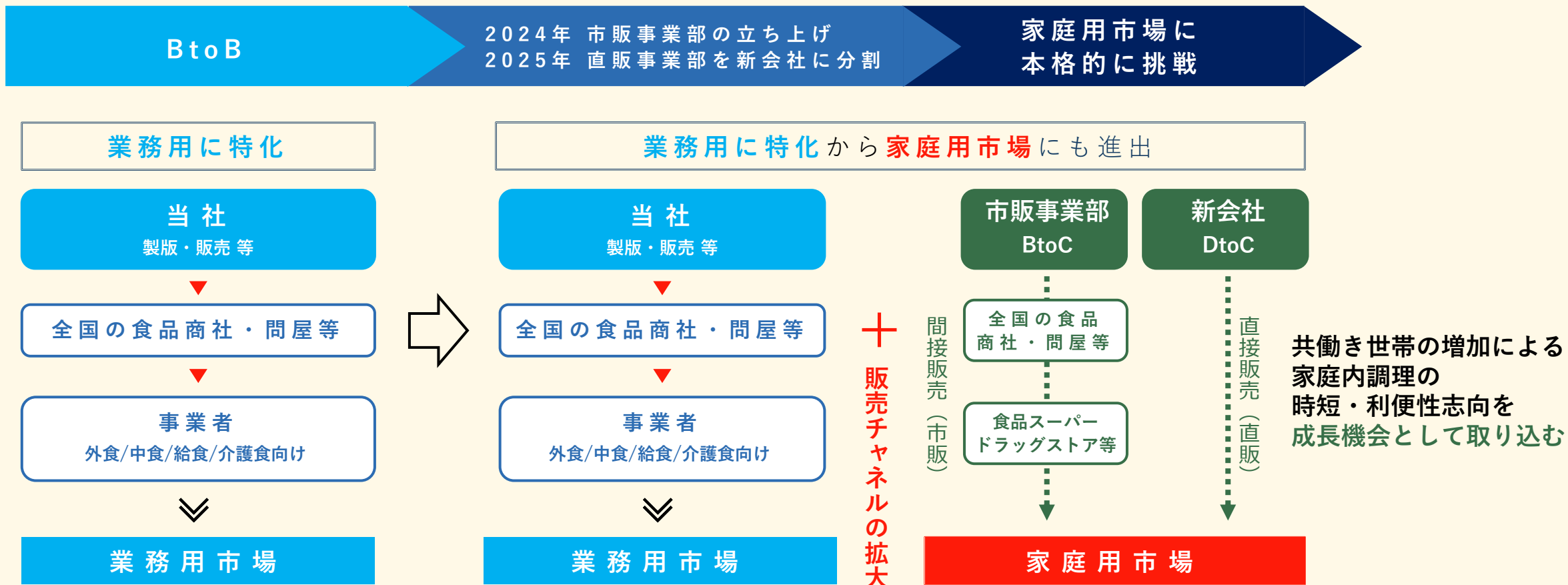
業務用に絞り込むと
順位はさらに上位に



市場での存在感と
競争優位を高めるために

BtoB（事業者間取引）以外の
販売チャネルを開拓

施策①：BtoB（事業者間取引）に加え、さらなる販売チャネルの拡充に挑戦



(注) 全ての販売モデルを図表化したものではありません

※ BtoC（市販）とは、当社商品を、食品スーパー等を通じて一般消費者に販売することをいう

※ DtoC（直販）とは、当社商品を、ECサイト等を通じて直接販売することをいう

施策②：冷凍食品事業を主軸とした当社の強みの最大化

●重点3分野で売上高42%増・約68億円の積上げを計画

分野1) 市販・直販向けチャネル

B to B (事業者間取引)に加え、家庭用市場 (一般消費者) へ進出、さらなる販売チャネルの創出に挑戦

分野2) 病院・施設向けチャネル

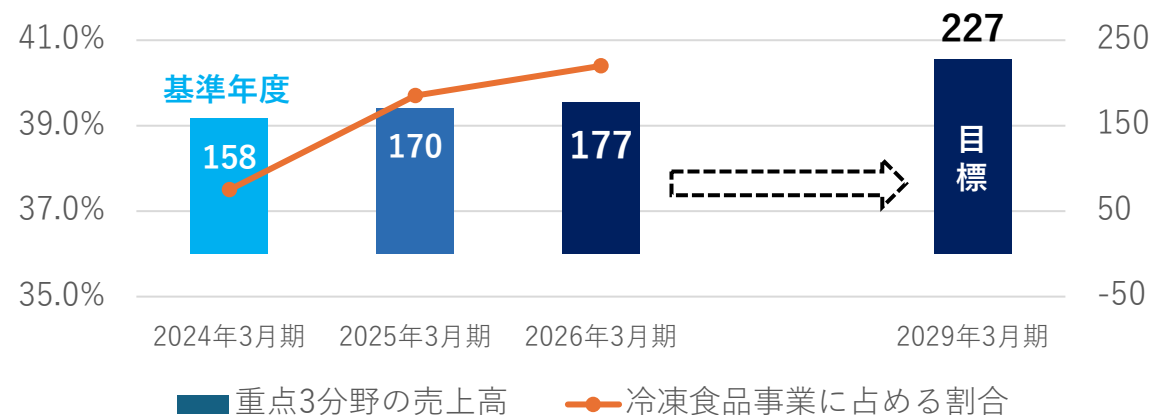
高齢者の健康維持を支える技術で、医療・介護現場の人手不足対策をサポートする商品を提供

分野3) 外食産業向けチャネル

幅広いジャンルをカバーする商品群で、労働力不足と人件費上昇が進む外食産業の省人化やオペレーションの効率化をサポートする商品を提供

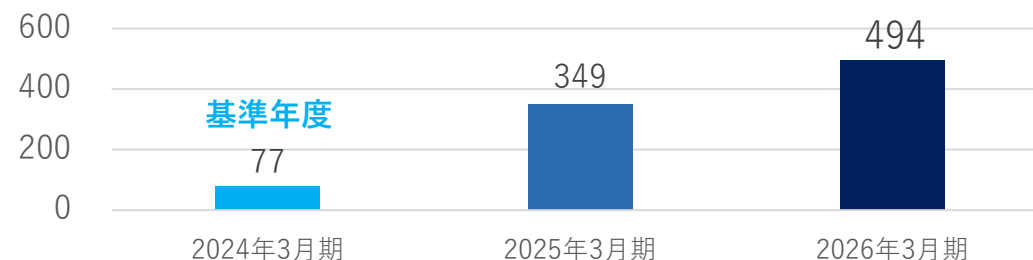
重点3分野の売上高は着実に増加

単位：億円



日東ベスト単体 経常利益の増加に貢献

単位：百万円



施策③：資金配分（キャッシュ・アロケーション）の優先順位

●資金配分の基本的な考え方（優先順位）

1

成長投資

生産性向上や効率化の新規投資、
省エネ・環境対策投資促進 etc.

2

環境整備

成長基盤や職場環境の整備、
既存資産の維持・更新 etc.

3

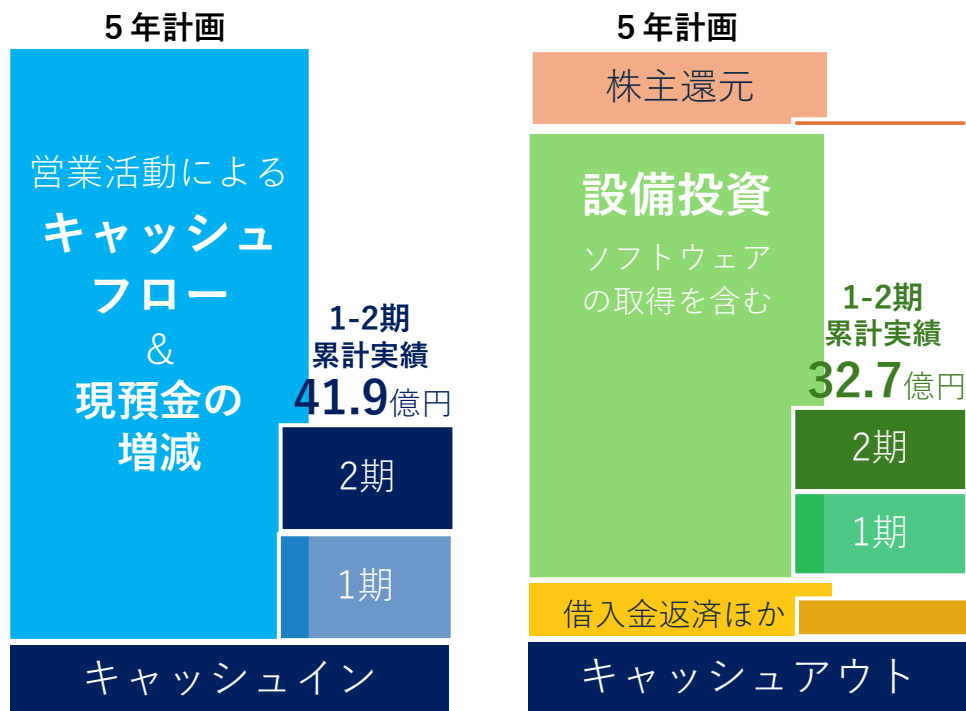
株主還元

収益性の向上に応じた安定的
かつ持続的な配当の実施

16.1億円

1.4億円

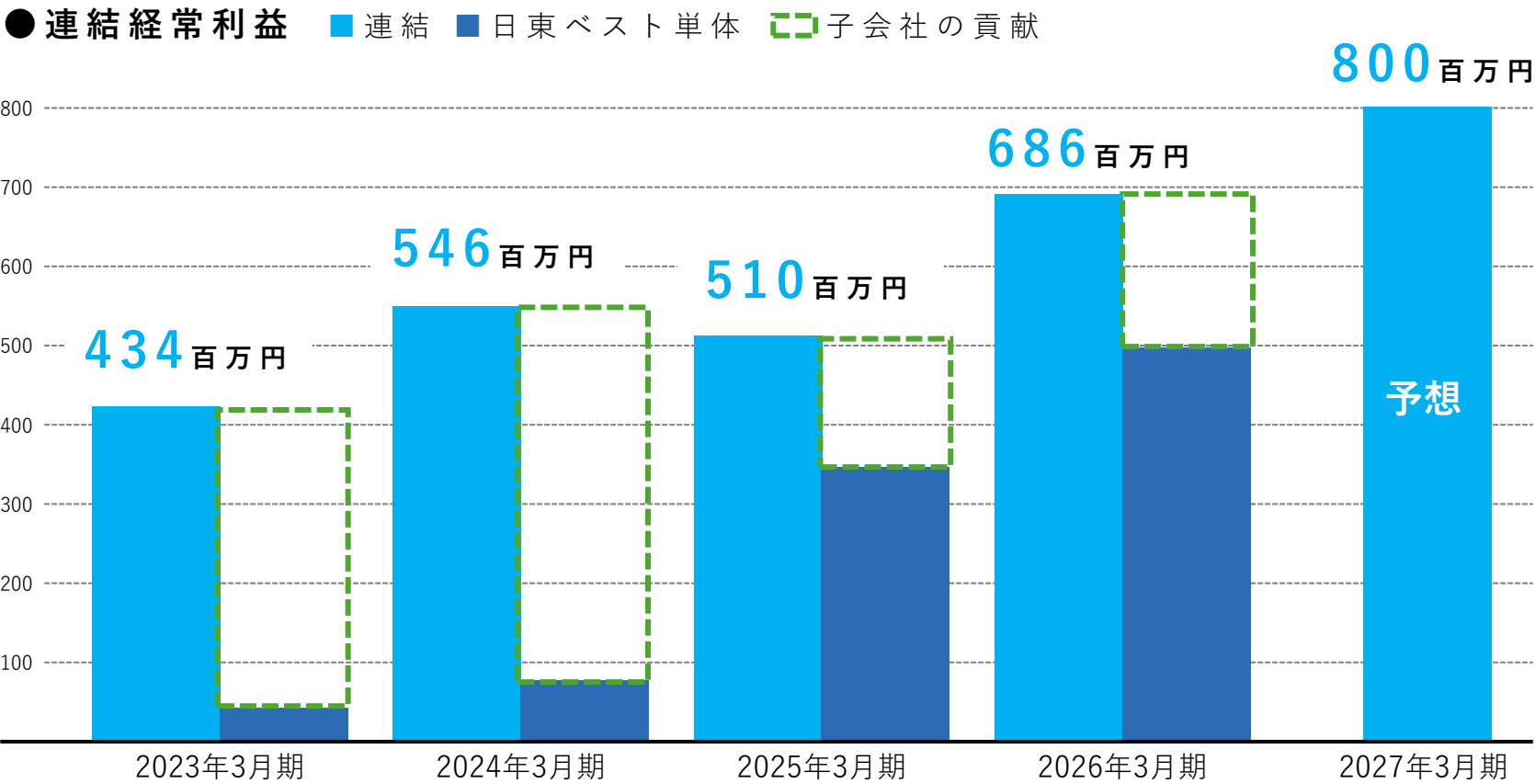
※ 2期目のみ（2026年3月期実績）



※ 資本配分は連結キャッシュ・フロー計算書等をもとに、内容を要約して作成しています

成長性と収益リターン重視の設備投資を軸に資金配分の枠組みを整備し、
収益強化につなげていく

子会社が担う日配食品部門等においても安定した利益を計上



日配食品部門

株式会社 爽健亭

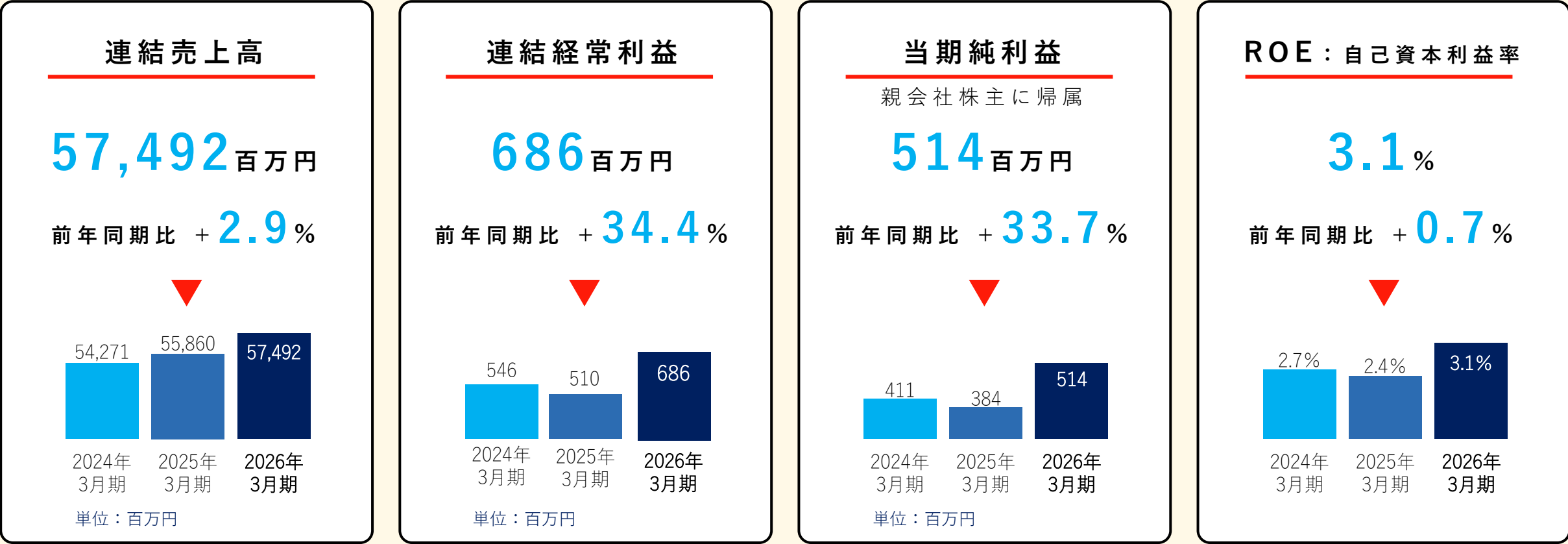


その他の部門

JAPAN BEST FOODS
(ベトナム)



中期経営計画2期目：連結損益の状況（2026年3月期）



中期経営計画2期目：部門別実績（2026年3月期）

冷凍食品部門

売上構成比率76.4%

2025年3月期

43,007百万円



2026年3月期

43,944百万円

前年同期比 + **2.2**%

日配食品部門

売上構成比率17.5%

2025年3月期

9,419百万円



2026年3月期

10,101百万円

前年同期比 + **7.2**%

その他の部門

売上構成比率4.0%

2025年3月期

2,226百万円



2026年3月期

2,328百万円

前年同期比 + **4.5**%

缶詰部門

売上構成比率1.9%

2025年3月期

1,206百万円



2026年3月期

1,117百万円

前年同期比 △ **7.3**%

1. 日東ベストについて

2. 中期経営計画及び決算

3. PBR及び株主還元

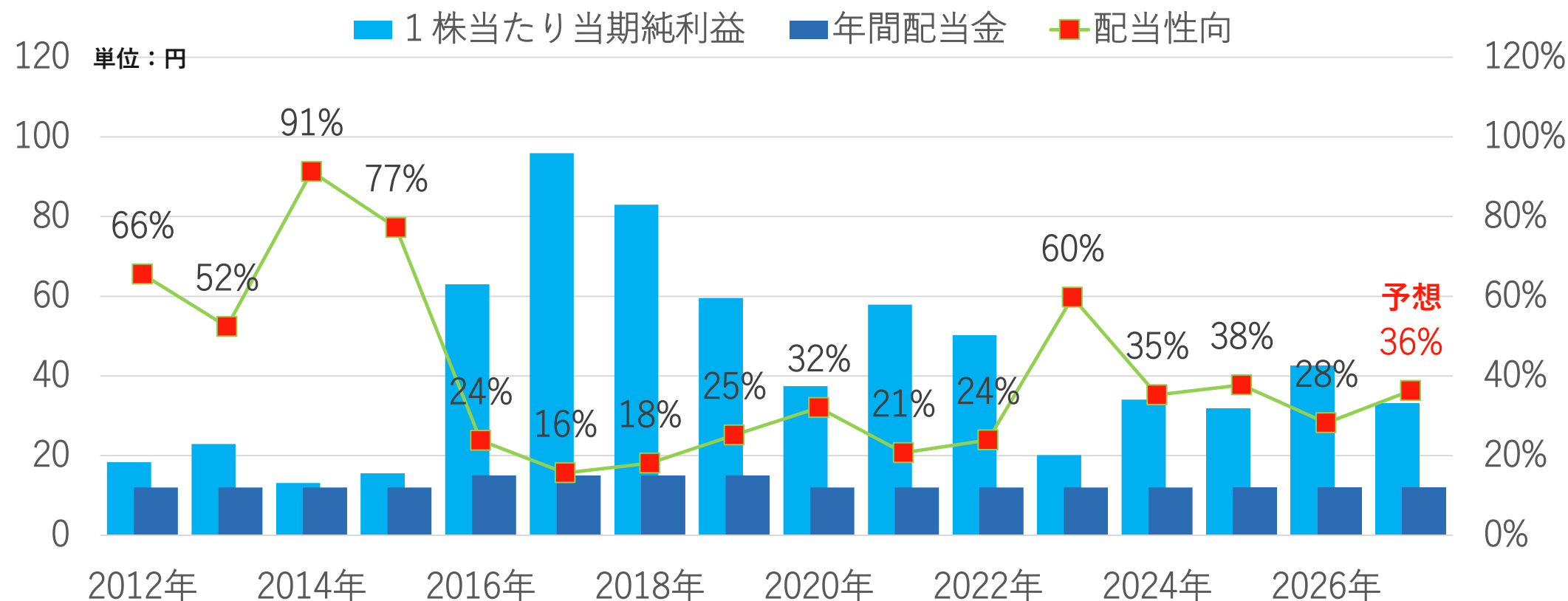
(注)

1. 本書中の記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております
2. 本書中の割合（％）は、小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。なお、各項目の割合を加算して100.0％にならない場合も、合計欄は100.0％と表示しております

1996年店頭登録以降、連続して有配（安定配当）

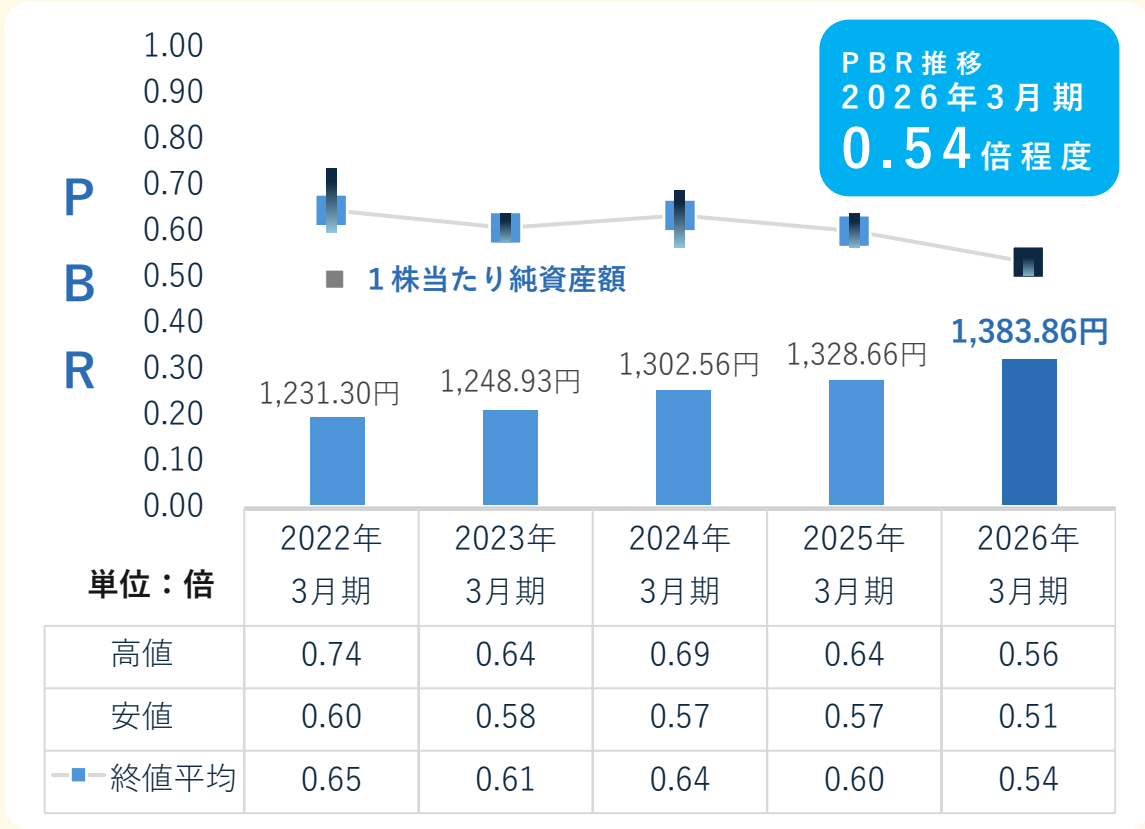
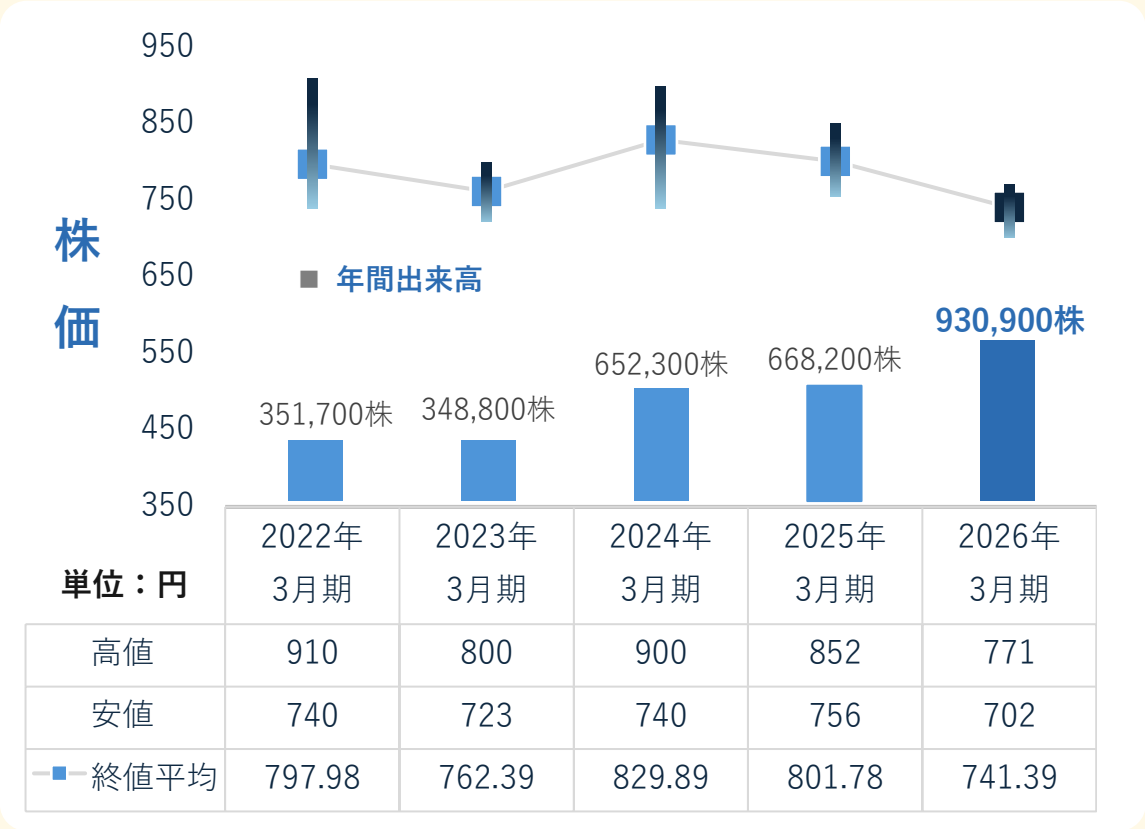
赤字決算は2003年3月期（1期）のみ

● 2012年3月期以降、直近15年の実績



※予想は様々なリスクや不確定要素の変動及び経済環境の変化等による不確実性が含まれております。

株価は700円台で小動き・PBR(株価純資産倍率)は1倍割れが続いている



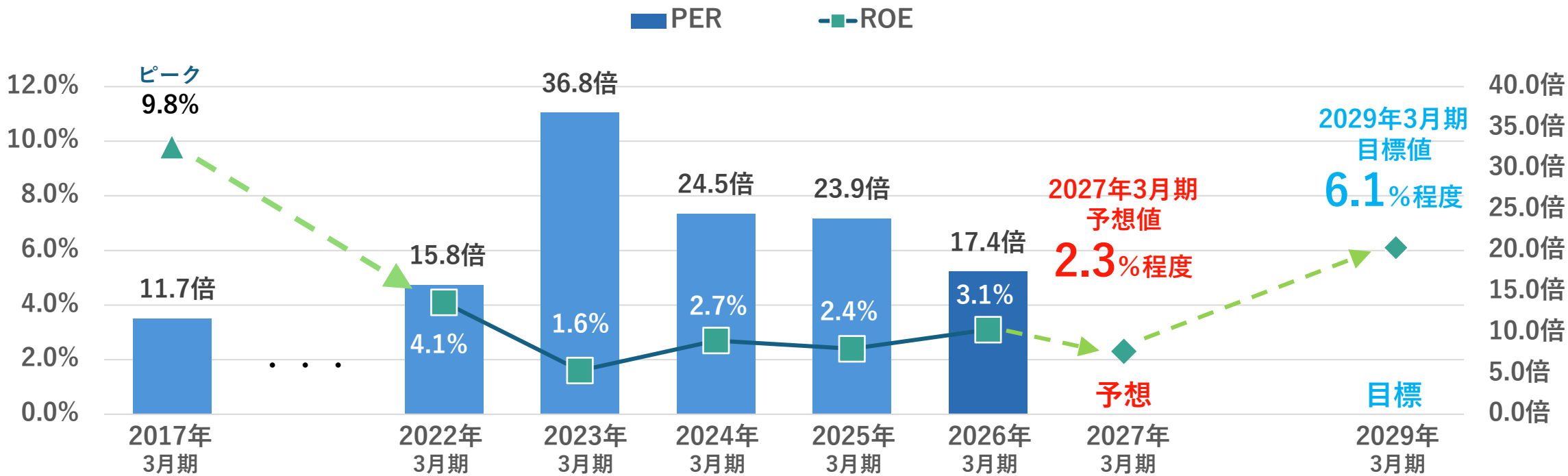
PBRの改善は、ROE（自己資本利益率）の改善・向上（＝収益性強化）が鍵となる

ROEの改善・向上への課題

	<u>ROE</u>		<u>収益性</u>		<u>資本効率性</u>		<u>財務レバレッジ</u>
	自己資本利益率		売上高純利益率		総資産回転率		1 ÷ 自己資本率
目標	5% ~ 7% 以上	=	1.5% 以上	×	1.3 倍以上	×	2.8 倍程度
	▼		▼		▼		▼
実績	3.1%	=	0.9%	×	1.4 倍	×	2.4 倍
	課題		課題				

収益性の改善が必要であり、中期経営計画の施策の
着実な実行を通じてROEの改善・向上に注力

株主資本コストはCAPM（資本資産価格モデル）でも6%相当を考慮



※予想は様々なリスクや不確定要素の変動及び経済環境の変化等による不確実性が含まれております。

資本コストを上回る収益性の確保に取り組むとともに

PERの維持・向上のため、成長性に対する市場評価の向上を課題として認識

株主優待：お申込みにより、選べる当社商品詰め合わせを進呈

(当社株式を1年以上継続して保有されている株主様が対象)

300株以上1,000株未満 保有

自社商品 **1,500** 円相当

A:常温品セット
B:冷凍品セット
から選択

例：Aコース
常温品セット



1,000株以上 保有

自社商品 **4,000** 円相当

A:常温品セット
B:冷凍品セット
から選択

例：Bコース
冷凍品セット



株主優待制度を通じた社会貢献活動団体への寄付

お申込みのなかった株主様の優待商品相当額は、当社より社会貢献活動団体に寄付いたします
最新の情報は当社ウェブページをご覧ください <https://www.nittobest.co.jp/ir/stock/yield.html>



持続的な企業価値向上に向けた“3つの挑戦”

01

競争力

高付加価値・成長領域への
選択と集中の徹底

お客さまのニーズを捉えた
営業提案力の強化

収益力を高めるための
生産性向上と効率化の実現

02

経営資源

成長投資による
収益性の追求と株主還元の適正化

人材育成と活力ある組織づくりの
さらなる強化

事業・人材ポートフォリオの
最適配分

03

信頼性

資本コストを上回る
収益性（ROE）への改善

ガバナンスの実効性強化

サステナビリティ課題への
戦略的な取り組み

ご清聴ありがとうございました

※本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。また、将来にわたる部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。様々なリスクや不確定要素の変動及び経済環境の変化等による不確実性が含まれております。

※その結果、将来の実際の業績等がこれらの記述と異なる結果となることを十分にご認識の上ご活用ください。

ご参考

中期経営計画
Reborn & Growing
2028 の進捗状況



<https://www.nittobest.co.jp/ir/others/businessplan.html>

当社
オンラインストア



<https://www.nittobest-online.net>

日東ベスト株式会社

経営企画室 総務人事部

法務・コンプライアンス課

電話 0237 - 86 - 2100（代表）

Appendix

- / 1. グループ会社**
- / 2. 製販プロセス**
- / 3. 株主の状況①**
- / 4. 株主の状況②**
- / 5. サステナビリティ基本方針**
- / 6. サステナビリティ①**
- / 7. サステナビリティ②**

グループ7社：持分法適用会社1社を含む

冷凍食品製造

- 九州ベストフーズ株式会社（福岡県）
卵・乳・小麦を持ち込まない専用工場
- 関西ベストフーズ株式会社（滋賀県）

日配食品製販

- 株式会社爽健亭（神奈川県/千葉県）

冷凍食品等販売

- 株式会社シロッコさがえ（山形県）

動物細胞の培養研究等

- 株式会社機能性ペプチド研究所（山形県）

加工食品製販（ベトナム）

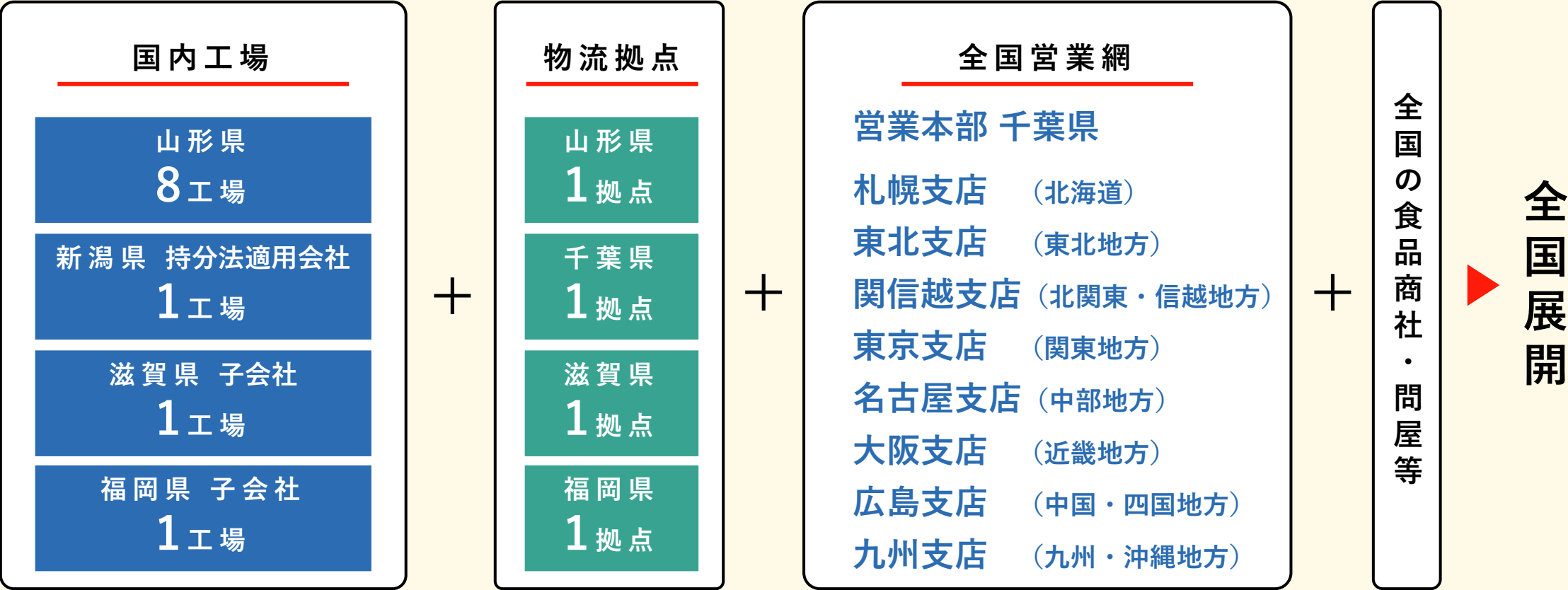
- JAPAN BEST FOODS COMPANY LIMITED
（ジャパンベストフーズ）

持分法適用会社

レトルトパウチ食品/冷凍食品の製販

- 日東アリマン株式会社（新潟県）

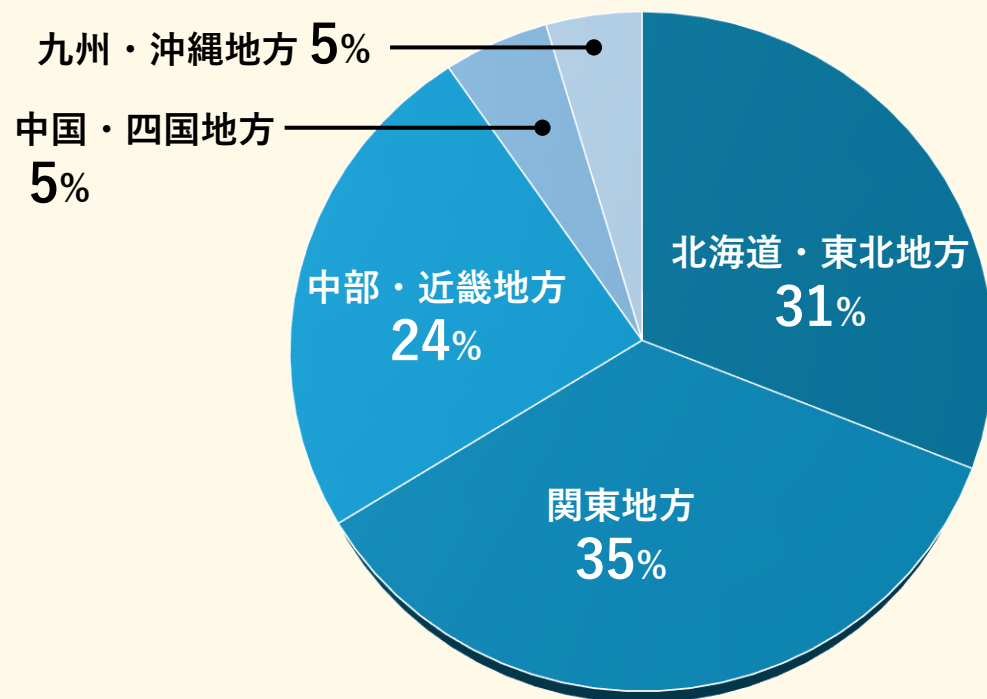
冷凍食品事業における「国内生産×全国営業」製販プロセスを一体化



株主のエリア別分布 & 所有者別議決権総数の構成

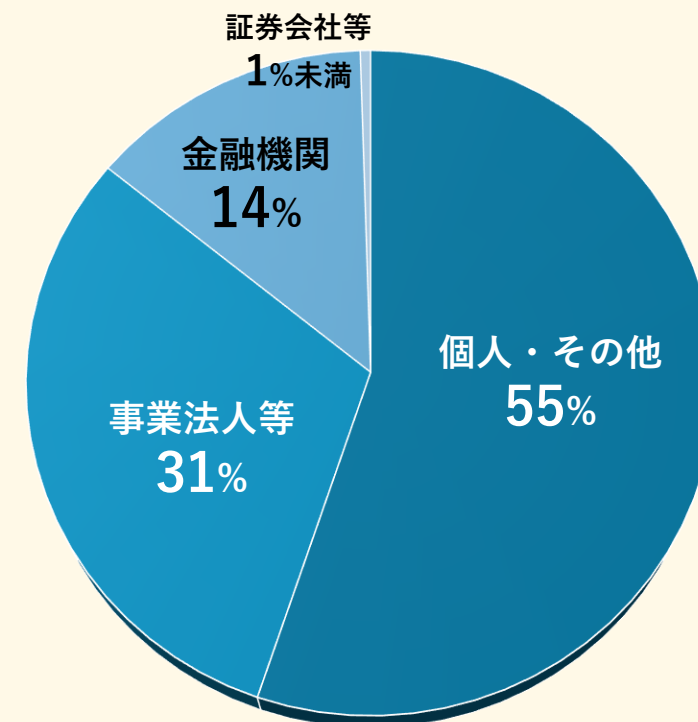
エリア別：全国に分布

株主総数 2,713名
(前年同期比 +633名)



所有者別議決権総数の構成

議決権総数120,887個
(個人・その他が過半数以上)



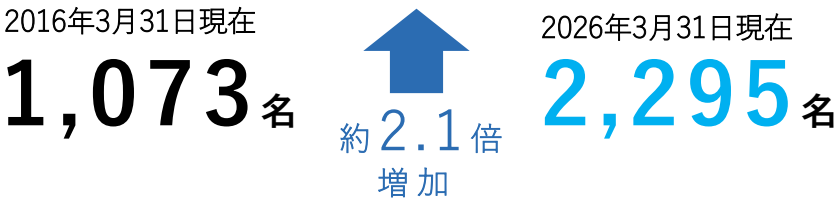
株主構成(大株主) 上位10位 & 議決権を有する株主数とその構成

■ 株主名：上位10位

日東ベスト取引先持株会
有限会社ウチダ・コーポレート
農林中央金庫
株式会社山形銀行
日東ベスト従業員持株会
株式会社ウチダ・ホールディングス
国分グループ本社株式会社
東洋製罐グループホールディングス株式会社
内田真帆子
川商フーズ株式会社

議決権を有する株主数とその構成

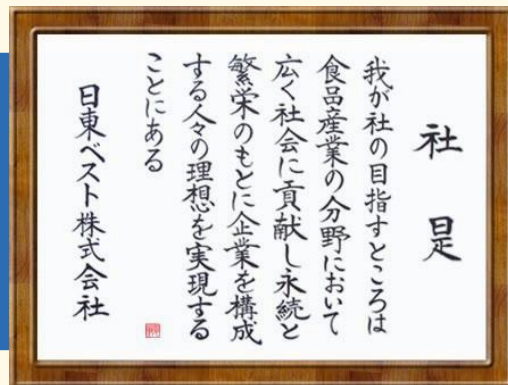
2023年：株主優待制度導入



株主数の構成：10年前からの変化

個人・その他	83.6%	↑	92.3%
事業法人等	14.3%	↓	6.1%
金融機関ほか	2.1%	↓	1.6%

サステナビリティ基本方針と6つの優先課題



社是の実現

企業行動規範に基づく事業活動を通じて持続可能な社会の発展と地球環境の保全に貢献し、
全てのステークホルダーと存在意義を共有する企業を目指します。



食の安全をお客様の更なる安心・信頼へ

持続可能な原材料調達の強化

ダイバーシティ & インクルージョンの推進

コンプライアンスの徹底 / 強化

温室効果ガス排出削減

プラスチック資源の削減 / 有効活用

サステナビリティの取り組み①：温室効果ガス排出削減

山形工場

太陽光パネルを設置



神町・山形工場＋子会社1社

使用電力の全量を
再生可能エネルギー※に転換

従来
約5,000
t-CO₂



現在
0
t-CO₂

※全工場の年間使用電力による
温室効果ガス排出量の24%相当を削減見込み

東根工場

自然冷媒タイプの
急速冷凍設備に更新



温室効果ガス排出削減

■ 2018年→2025年

自社排出量 **15.8%** 削減

サステナビリティの取り組み②：ダイバーシティ & インクルージョンの推進

● 人的資本KPI（日東ベスト単体）

	2026年3月期	2025年度3月期
平均年間給与の対前事業年度増加率	103.7%	-
管理職に占める女性労働者の割合	15.6% (目標20.0%)	13.4%
男性労働者の育児休業取得率	90.0%	80.0%
労働者の男女の賃金の差異 (全労働者)	65.3%	62.6%
正規雇用労働者の中途採用比率	65.1%	72.0%
有給休暇取得率(全労働者)	87.9%	88.7%



経営的な視点

従業員等の健康管理・健康増進の取り組みを推進



企業価値向上と活力ある組織づくりを戦略的に進める